広報 ＮＯ14　（2024年９月1日発行）

～ともに　紡ぎあい　育ちあう～

わかば

社会福祉法人わかば会

盛岡市西松園３丁目１９－６
発行責任者　鈴木　禮子
☎：０１９－６６１－３１０３
fax：０１９－６６２－５１２１
https//www.wakaba-kai.or.jp

法人運営施設
- わかば保育園
- 北松園風の子保育園
- 本宮保育園
- うえだ保育園
- 宇宙学童クラブ
- 第二宇宙学童クラブ

宇宙学童クラブ　一輪車

ＮＨＫ「虎に翼」の朝ドラが評判です。女性が「三界に家なし」と言われた家父長制の時代に、女性として初めて法曹界に進出した主人公の汗と涙の開拓精神に満ちたドラマです。

ジェンダー平等が言われる現代でも、女性であるが故の矛盾（苦労）とも重なり「はて？」が、共感しあいドラマと一体化しているのではないでしょうか。

今日、女性の就労が８割を超え専業主婦を大きく上回る時代になりました。女性の社会参加により従来女性が担ってきた育児や介護などの家事が社会化し女性の活躍が拡がっています。

しかし、保育や介護などケア労働の多くは女性であり、女の仕事として軽んじられてはいないだろうか。私としては「はて？」と首をかしげてしまいます。

とりわけケア労働に携わる女性の処遇は極めて低く押さえられ、保育では76年間変わらない最低基準が何よりもこのことを物語っているのではないでしょうか。

性別役割分担の中で女性が担って来たケア労働の価値が軽視されている現実が見えてきます。

朝ドラの主人公にならい「はて？」と、置かれている現実を変える努力をあきらめずこれからも前へ・・。

社会福祉法人わかば会
理事長　鈴木禮子

「平和のねがい」子どもたちに伝える

広島・長崎への原爆投下から79年になりました。二度と再びこのような悲惨な戦争を繰り返してはならないと世界に向けて平和を誓う日でもあります。

社会福祉法人わかば会はわかば保育園開園当初から「平和なくして福祉なし」との立場から、保育の中で平和について語り、話し合う活動を進めています。

今年も、8月6日にそれぞれの園が「平和の集い」に取り組みました。「つどい」では平和に関わる絵本の読み聞かせや平和を題材にしたうたを（折鶴、青い空は、ぞうれっしゃよはしれ）手話を交え歌い、子どもたちが感じたことをおもい思いに話し合います。（下段の囲み文章）

みんながあたりまえの生活が続くよう、平和の大切さを知る機会になっています。

世界に目を向ければウクライナな侵略を続けるロシアが核の威嚇を繰り返し、ガザ攻撃を激化させるイスラエルが核使用を「選択肢」と発言するなど世界は核兵器をめぐり緊張を強いられています。

一触即発の中で核兵器廃絶はもとより子どもたちが「話し合うのがいい」と考えついたことを、大人たちが自分ごととし、子どもたちに平和な世界を手わたせるよう行動しなければと思います。

うえだ保育園 読み聞かせと絵本

～平和の集いをしました～

広島に原爆が投下されて79年となる今日。
つばささん、たいようさんでホールに集まり園長先生に「伸ちゃんのじてんしゃ」の絵本を読んでもらいました。原爆によってボロボロになってしまった三輪車の写真を見て「かわいそう・・」とつぶやいていた子どもたちでした。
「戦争ってどんなこと？」「誰かと思いがすれ違った時どうする？」「武器で戦ったり手を出すのがいいのかな？」「話し合うのがいいと思う」とみんなで考えあいました。
平和ってなんだろう。毎日友だちと好きなことをして遊んだり、おいしいご飯を食べたり、みんなが笑顔で安心して過ごしていることかな・・・
「平和」の大切さをみんなで考えました。（わかば保育園の取り組みから）

第56回 保育合同研究in熊本に参加して

うえだ保育園
園長 遠藤美紀

「つながり合いましょう熊本で！新しい物語のはじまりです！」をテーマに、暑い熊本で保育者たちの熱い思いが伝わるオープニングでスタートした、第56回合研。各県から続々と仲間が集まり、会場を埋め尽くす様子に「これぞ合研！」と心が躍りました。

全体会の基調報告では中西新太郎さんの「保育・子育てに絶対の方法やモノサシはない」や、池添素さんの「『～であるべき』に固執せずこどもの育つ力を信頼することが大切」との言葉が印象的でした。

基礎講座は二本松はじめさん、町田浩志さんの『つながりあそび』に参加。200名以上の親子、保育者が参加して歌って踊ってつながって…と、まさに「みんなでみんなを大切にする保育・子育て」「つながり合う子育て」合研のテーマにピッタリな講座でした。

1800㎞の距離を超えて、人と人が繋がることの喜びや嬉しさを感じながら学びを深めることができました。

オンライン分科会では、うえだ保育園の細越逸花栄養士、風の子保育園赤澤里歩保育士、本宮保育園小野のぞみ保育士が実践発表を行いました。

全体会場＆基礎講座

理事会の動き

１８０回理事会　２０２４年6月21日（金）

○2023年度事業報告と決算について
○2024年度理事、監事の報酬の総額について
○法人組織の見直しについて
○旅費規程の一部改正についてを議題とし、全て承認されました。

2023年度決算は、入園児も徐々に増えわかば保育園を除く３園が定数を上回る園児を受け入れることができました。

保育士不足の中、就職説明会に積極的に参加し４名の保育士を新採用予定で確保しました。

令和６年度定時評議員会 2024年６月２９日(土)

○報告事項
・2023年度事業報告・理事の辞任及び選任
・施設長の異動・役員及び評議員の報酬見直しについて

○令和５年度決算を議題とし承認されました。

合わせて、令和６年度について希望する臨時職員19名の正職員化と給与表の一元化を行い若い職員が安心して働ける環境整備、対外的には「わかばの保育」を知ってもらう活動、職員研修の充実を図ることなど報告されました。

中長期計画策定委員会

予想を超えて進む少子化により現計画（R５年～R９年）が、全て右肩上がりの計画となっています。定員割れが生じている現状と乖離しているため、見直しの検討をはじめました。

財務報告

法人単位資金収支計算書
（自）令和５年４月1日（至）令和６年３月31日

勘定科目			予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)
事業活動による収支	収入	保育事業収入	542,052,000	572,564,269	△ 30,512,269
		経常経費寄附金収入	309,000	270,757	38,243
		受取利息配当金収入	10,000	6,681	3,319
		その他の収入	11,810,000	11,874,028	△ 64,028
		事業活動収入計(1)	554,181,000	584,715,735	△ 30,534,735
	支出	人件費支出	464,688,000	458,189,941	6,498,059
		事業費支出	54,162,000	51,280,467	2,881,533
		事務費支出	47,291,000	37,211,529	10,079,471
		支払利息支出	75,000	74,528	472
		その他の支出	7,540,000	7,474,663	65,337
		事業活動支出計(2)	573,756,000	554,231,128	19,524,872
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		△ 19,575,000	30,484,607	△ 50,059,607
施設整備等による収支	収入				
		施設整備等収入計(4)			
	支出	設備資金借入金元金償還支出	2,016,000	2,016,000	0
		固定資産取得支出	20,435,000	19,318,337	1,116,663
		施設整備等支出計(5)	22,451,000	21,334,337	1,116,663
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		△ 22,451,000	△ 21,334,337	△ 1,116,663
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	18,874,000	18,872,226	1,774
		その他の活動による収入	295,000	349,810	△ 54,810
		その他の活動収入計(7)	19,169,000	19,222,036	△ 53,036
	支出	積立資産支出	3,898,000	3,842,931	55,069
		その他の活動支出計(8)	3,898,000	3,842,931	55,069
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)		15,271,000	15,379,105	△ 108,105
予備費支出(10)			1,550,000 △ 42,000	—	1,508,000
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)			△ 28,263,000	24,529,375	△ 52,792,375

前期末支払資金残高(12)	148,026,645	148,026,645	0
当期末支払資金残高(11)+(12)	119,763,645	172,556,020	△ 52,792,375

保育制度は公的責任を本流に

言うまでもなく、保育所は児童福祉法第24条1項に基づき設置運営されています。

24条1項は「市町村は保護者の労働又は疾病その他の事由により保育を必要とする児童を保育所において（認定こども園を除く）保育しなければならない」と規定（一部省略）。保育所は市町村の委託事業として位置付けられ、保育に要する費用は委託費（公定価格）として支給されています。

一方、認定こども園（幼稚園と保育所機能を併設）は、幼稚園と同様に保護者とは直接契約で保護者に公定価格を直接支給する制度です。ただし、園が保育料を除いた額を代理受領する制度になっています。

市内の認定こども園はこの5年間で16ケ所から31ケ所に増加し、私立保育園は47施設から41施設に減少しています。

認定こども園は、保育園と比べて公定価格の基本分単価が高く設定され、経営上のメリットが大きく、認定こども園への移行が増える大きな要因となっています。

少子化の進行で定員割れが生じ、危機的な運営状況を回避するため行政は認定こども園への移行を促しています。

更に、就労の有無を問わない「こども誰でも通園制度」の導入は保育を「託児・預かり」に変質させるもので、保育の公的責任が曖昧にされ後景に追いやられています。

保育にとって重要なことは公的責任の維持・拡充です。せめて保育園と認定こども園の公定価格の格差は急いで解消すべきです。

園児募集

産休明けからの０才児保育
支援児保育、延長保育等
行っています。

本宮育園「つばさの日」夕食づくり
カレーライスづくりに挑戦

入園児童数（8月1日現在）

わかば保育園	７２名
風の子保育園	６１名
本宮保育園	１３８名
うえだ保育園	１１１名
宇宙学童クラブ	５４名

お知らせ

小中学校の学校給食費無償化を求める署名にご協力を！

「学校給食の無償化を求める岩手の会」が行っている署名運動に取り組んでいます。

８月25日現在、内館盛岡市長あて５１０筆達増岩手県知事あて５６１筆届きました。

ご協力ありがとうございます。引き続きよろしくお願いします。

第20回 岩手保育のつどい

主催：岩手県保育連絡会

恒例の全国保育団体連絡会による国会請願署名運動が始まります。署名の成功と保育情勢などで学び交流します。

詳細は後日詳しくお知らせします。

と　き　11月10日（日）13:30～

ところ　アイーナ 小田島組ホール

あとがき

▼1ジーの写真は、わかば保育園の「縁日ごっこ」で宇宙学童クラブの子どもたちが披露した一輪車です。

縁日ごっこは、学童クラブのお兄さんお姉さんのオープニングからはじまり、シャボン玉やけん玉、大皿回しなど実に巧みに披露しました。

乳児から学童まで年齢差のある子どもたちが一緒に楽しむ、わかば保育園ならではの縁日ごっこは最高の盛り上がりでした。

熱中症が心配されるほどの暑さの中、キャンプ、おとまり会、プール遊びなど事故やけがのないよう細心の注意を払い、子どもたちに最高の思い出をと取り組む、職員の努力に頭が下がります（感謝）。（礼）

風の子保育園 夏まつりごっこ